

会社の概況

■ 会社概要 (平成28年7月31日現在)

| | |
|--------|---|
| 設立 | 昭和21年2月9日 |
| 資本金 | 13億3千1百万円 |
| 主要な事業所 | 43か所 |
| 従業員数 | 211名 (連結434名) |
| URL | http://www.subaru-kougyou.jp |
| 本社 | 〒100-0006 東京都千代田区有楽町一丁目10番1号 TEL 03-3213-2861 (代表) |
| 関西支社 | 〒530-0053 大阪府大阪市北区末広町3番21号 TEL 06-6313-4501 (代表) |
| 主な事業内容 | 道路の維持・清掃、補修工事の請負 映画の興行、飲食店の経営・飲食物品の販売、マリーナの運営 不動産の賃貸借 |

■ 取締役および監査役 (平成28年10月13日現在)

| | |
|---------------|--------|
| 取締役社長 (代表取締役) | 小林 憲 治 |
| 専務取締役 (代表取締役) | 松丸 光 成 |
| 常務取締役 | 佐波 宏 夫 |
| 常務取締役 | 永田 泉 治 |
| 取締役 | 堀内 信 之 |
| 取締役 | 今沢 宏 之 |
| 取締役 | 岡部 一 朗 |
| 取締役 | 太古 伸 幸 |
| 取締役 | 高橋 昌 治 |
| 取締役 (社外・独立) | 宮家 邦 彦 |
| 常勤監査役 (社外) | 遠藤 信 英 |
| 常勤監査役 | 鈴木 誠 之 |
| 監査役 (社外・独立) | 野元 三 夏 |

■ 株式の状況 (平成28年7月31日現在)

発行可能株式総数 : 40,000,000株
発行済株式の総数 : 26,620,000株
株主数 : 4,937名 (前期末比72名増)

株主メモ

| | |
|------------------------|---|
| 事業年度 | 2月1日から翌年1月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年4月 |
| 配当金受領株主確定日 | 期末配当金 1月31日、中間配当金 7月31日 |
| 基準日 | 定時株主総会 1月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日 |
| 株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 同連絡先 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料) |
| 単元株式数 | 1,000株 |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所 |
| 公告の方法 | 電子公告により行う 公告掲載URL http://www.subaru-kougyou.jp (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします) |

HPのご案内

《<http://www.subaru-kougyou.jp>》

株主ご優待

株主優待カードのご利用により、有楽町スバル座上映作品がご鑑賞になれます。
(但し、特別興行や貸館等の際はご利用になれません。)

株主ご優待

株主優待カード 有楽町スバル座

TEL 03-3212-2826
JR有楽町駅日比谷口前
有楽町ビル内 (東京都千代田区有楽町1-10-1)

ご所有株式数 ご招待回数

1,000株以上 6カ月 6回
(2カ月ごとに2回)

2,000株以上 6カ月12回
(2カ月ごとに4回)

3,000株以上 6カ月18回
(2カ月ごとに6回)

株主優待カード (書換え式)

株主優待カードのご利用について

株主優待カードを有楽町スバル座チケット売場 (有楽町ビル2階有楽町スバル座劇場入口)へご提示願います。入場券の発券を行います。

なお、カードの発行に関する件やご利用の方法など詳細については、「株主優待のご案内」の冊子または、当社ホームページの「株主優待情報」をご参照いただきますようお願い申し上げます。

※この株主優待カードは、使い捨てのカードではございません。
(初回のみ発行で、6カ月ごとの発行はございません。)

株主様が、ご優待をお受けになる権利を有する間、カードに記載されている利用可能年・残回数はスバル座ご利用時に適時、書き換えられます。

なお、紛失等で再発行される場合は、再発行手数料をご負担いただきますので、ご了承ください。

お知らせ

1. 単元未満株式の買取請求にかかる費用は無料です

株主様がご所有の単元未満株式 (1,000株未満の株式) を当社にご売却いただくことができます。この場合の手数料については無料といたしております。

● 特別口座に記録された単元未満株式の買取請求のお手続き

▶ 三菱UFJ信託銀行株式会社 TEL0120-232-711 (フリーダイヤル) へお問い合わせください。

● それ以外の単元未満株式の買取請求のお手続き

▶ 口座を開設されている証券会社へお問い合わせください。

※・証券会社を通じてのお手続きで、所定の手数料がかかる場合があります。

・当社は単元未満株式の買取請求は行っておりません。

2. 特別口座で株式をお持ちの株主様へ

特別口座に記録された株式については、単元未満株式の買取請求を除き、特別口座のままでは売買することができません。売買するためには、証券会社等に一般口座を開設し、特別口座から株式を振り替えるお手続きが必要となります。

● 特別口座から一般口座への振替のお手続き

▶ 三菱UFJ信託銀行株式会社 TEL0120-232-711 (フリーダイヤル) へお問い合わせください。

3. 配当金の受取方法について

ゆうちょ銀行または郵便局の窓口に「配当金領収証」を持参し配当金をお受け取りする方法に替え、銀行預金口座への振込の方法がございます。お受け取りをお忘れになることもなく、安全で確実に配当金をお受け取りいただけます銀行預金口座振込方式を是非ご利用ください。

● 配当金の振込指定のお手続き

▶ 口座を開設している証券会社または三菱UFJ信託銀行株式会社 TEL0120-232-711 (フリーダイヤル) へお問い合わせください。

スバル興業株式会社

東京都千代田区有楽町一丁目10番1号
TEL 03-3213-2861 (代表)
<http://www.subaru-kougyou.jp>



株主のみなさまへ



第103期 中間報告書

平成28年2月1日 ▶ 平成28年7月31日

■ 株主の皆様へ



株主の皆様には、平素より格別のご厚情をたまわり誠にありがたく、厚く御礼を申し上げます。

さて、当社は第103期上半期を終了いたしましたので、ここに中間報告書をお届けし、当社グループの事業の概況をご報告申し上げます。

平成28年10月

取締役社長 小林憲治



スバル興業株式会社

証券コード : 9632

事業の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境は緩やかに改善が続き、民間設備投資に持ち直しの動きがみられるものの、中国を始めとするアジア新興国の景気下振れ懸念や英国のEU離脱問題などの影響により、急激な円高や株安が進行し、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しました。

このような情勢のもと、当社グループはさらなる企業価値の向上を図るため、当連結会計年度を初年度とする3か年計画『中期経営戦略2016-2019 TRY!2019』を策定し、その目標に向かい各事業において業績の向上に努めましたところ、当第2四半期連結累計期間における売上高は104億6百万円（前年同期比6.8%増）、営業利益は14億6千8百万円（前年同期比45.1%増）、経常利益は14億9千2百万円（前年同期比44.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億6千5百万円（前年同期比59.9%増）となりました。

道路事業

道路事業は、引き続き公共投資が緩やかに減少傾向であることから企業間における受注競争は増しており、建設技能者の不足や材料・資機材の価格変動など依然として予断を許さない状況が続きました。このような中、道路維持・補修工事において、積極的な営業活動による新規工事の受注と、既存工事の増工や追加受注に努めるとともに、原価管理の徹底によるコストの削減や業務の効率化を推し進め、利益の向上を図りましたところ、売上高は88億1千1百万円（前年同期比7.3%増）、セグメント利益は14億5千3百万円（前年同期比36.9%増）となりました。



道路維持作業車

レジャー事業

「有楽町スバル座」における映画興行は、期中13作品を上映し『団地』を始め『海すずめ』『つむぐもの』などの邦画作品が好評を博し、売上高は前年同期を上回りました。

飲食事業は、消費者マインドに足踏みがみられる中、季節に合わせた新メニューの提供や、一部店舗でランチタイムのオードブルバイキングを開始するなど、新たなサービスの提供による集客増に努めました。期中4月にイタリア料理「トラットリアADONE青山店」の閉店や、高速道路売店向け商品の販売が振るいませんでしたが、同2月に「ドールコーヒーショップ大宮駅前店」が新規開店したこともあり、売上高は前年同期を上回りました。

マリナー事業は、「夢の島・浦安両マリナー」の契約艇数が引き続き高水準で推移したことに加え、『ハワイアンフェスティバル』などのイベントや「イーノの森 Dog Garden」の集客増による施設利用収入の増加もあり、売上高は前年同期を上回りました。

以上の結果、レジャー事業全体の売上高は12億8千4百万円（前年同期比3.1%増）、セグメント利益は7千9百万円（前年同期比13.8%増）となりました。



ドールコーヒーショップ大宮駅前店

不動産事業

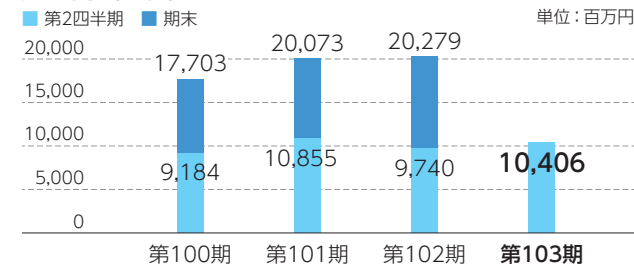
不動産事業は、「吉祥寺スバルビル」で一部テナントの退室があったものの、「新木場賃貸倉庫」を始めその他の賃貸物件は堅調に稼働したため、売上高は3億1千万円（前年同期比10.3%増）、セグメント利益は2億8百万円（前年同期比18.7%増）となりました。



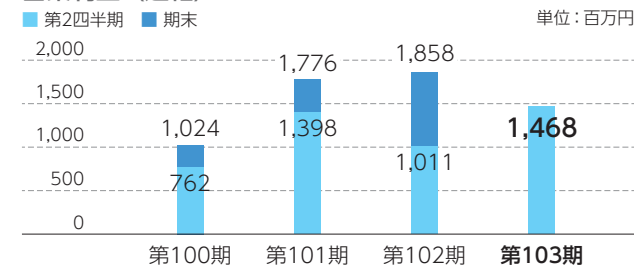
新木場賃貸倉庫

財務ハイライト

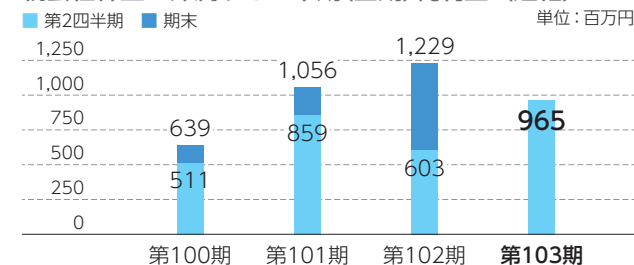
売上高（連結）



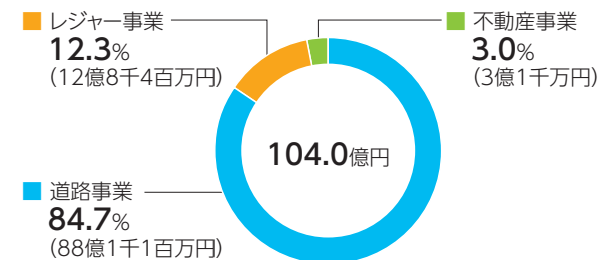
営業利益（連結）



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益（連結）



セグメント別売上高構成



詳細な財務情報は当社ホームページIR情報をご覧ください。

<http://www.subaru-kougyou.jp>